

ピンポン伝送方式

Ping-pong transmission system

メタリックケーブルを使うデジタル伝送方式の1つであり、2線のケーブル上で、時間分割して送受信を繰り返すことによって、双方向伝送を行う方式である。

伝送時には、同期を取りつつ伝送方向を1秒間に400回切り替える。

この伝送方式は、INSネットサービスに採用されている。

ピンポン伝送方式の特徴

Characteristics of ping-pong transmission system

- ・1対の加入者線で時間を区切ってデジタル信号を交互に伝送する
- ・加入者線の両端に切替スイッチを置き、同期を取って高速で伝送方向を切り替える
- ・ISDNの基本インタフェースの場合、加入者線伝送速度は320baudである
- ・日本ではINSネット64や高速デジタル専用線に使われている

ピンポン伝送方式の原理

Principles of ping-pong transmission system

デジタル信号を上り・下りと交互に伝送している形が、ちょうどピンポン球を打ち合っているように見えるのでこの名前がつけられた。NTTのINSネット64で使われている。

